平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	中東淡水化研究センター基金拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	中東アフリカ局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度開始 ・未定		担当課室	中東第一課		課長 長岡 寛介		
会計区分	一般会計		施策名	国際機関等を通じた経済・社会分野に係る国際貢献に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	MEDRC事務局からの要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「淡水化に関連する基礎研究及び応用研究の振興、実施、調整等を行うこと。また、淡水化の技術的な工程を改善することにより、中東和平プロセス並びに中東及びその他の地域の人々の生活水準の向上に貢献すること」(設立協定)							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>(1) 設立経緯: 中東和平多国間協議は、91年のマドリッド会議で決定された枠組みに従い、5つの作業部会(環境(我が国が議長)、水資源、経済開発、難民、軍備管理)を設けて活動を展開してきた。オマーンは、水資源作業部会第3回会合(93年10月)において、淡水化に係る経費の削減を目的とした機関の設立を提案。94年4月の第5回会合において、オマーンは、右提案を具体化させ、自国内に「中東淡水化研究センター」を設立することを提唱し、このオマーン提案が同年11月の第6回会合において全会一致で採択された。</p> <p>(2) 事業内容: 域内のキャパシティ・ビルディング向上のための研修実施、研究開発の助成を中心に実施している。</p>							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	8	6	—	
	執行額	—	—	8				
	執行率(%)	—	—	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	中東和平コアパーティー間の信頼醸成をはかりつつ、域内における淡水化部門の技術力向上に貢献。 MEDRC全体の各種研修実施数及び研究開発の助成事業数	成果実績	事業	—	—	73	75	
		達成度	%	—	—	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	我が国の拠出による各種研修事業数		活動実績 (当初見込み)	事業	—	—	2 (2)	— (2)
単位当たりコスト	3,760 (円/1事業)		算出根拠	平成22年度拠出額/各種研修事業数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	その他	5,812	—	廃止				
	計	5,812	—					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	MEDRC事務局監理の下、適切に執行を行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	廃止		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			